

夏休みの研究「社会科」(3～6年)

自分の知りたいことや、調べてみたいことを取り上げて、夏休みに社会科の自由研究に取り組んでみましょう。毎日の生活の中で、「どうしてだろう」「どんなふうになっているのかな」ということをテーマにし、そのなぞに迫っていきましょう。

社会科の研究の進め方は「その場所に出かけて、自分の目で見て調べる」や「専門家やよく知っている人に話を聞いて、資料を集め、それをもとに考える」などの方法があります。

三島学区や岡崎のこと、地域の産業など、「自分が知りたい!」と思うことをテーマにすると楽しいです。たくさんの人の参加を待っています。

- | | |
|--------|--|
| ○研究の内容 | ・ 社会科学習 または 社会科の発展学習 |
| ○まとめ方 | ・ おかざき学習（徳川家康、大樹寺、志賀重昂、石田茂作など）に関するもの
・ 学校で配付する A3 の用紙
※入選作品は岡崎市の社会科研究作品展に出品します。その場合は模造紙に清書しますので、追って連絡します。
※別添資料を付けるときは、ノート、ファイル、スケッチブックなどを活用しましょう |
| ○書き方 | ・ ノートやルーズリーフ等のみでもよい。
・ 「研究テーマ」「学校名」「学年」「名前」を必ず記入する。
・ 学校の HP にアップされる「書き方見本」を参考にする。 |

こんな研究作品づくりを目指そう

- ①誰も取り組んでいない独自のテーマを選んでいる。
- ②足で歩いて調べ、自分の目や耳で確かめる。
- ③何度も調べ、たくさんの資料を集める。
- ④学区や岡崎市などの身近なテーマや調べる。
- ⑤調べたことを比べたり関係づけたりして、まとめている。
- ⑥調べたことの確かさをもとに自分の考えをまとめる。
- ⑦世の中の課題や今後の社会のあり方について、自分なりの見方や提案を示す。
- ⑧自分の強い思いや願いを表す。

過去の作品の研究テーマ

- 「あばけ! 渡町の七ふしぎ」
「みんなが外出しやすい世の中へ」
「防災とげん災について」
「せまりくる南海トラフ大地震」
◎研究を通して、「今」そして「これから」を見通すという視点を大切に取り組もう。
※研究のテーマや調査方法に困ったときは、担任の先生や中川先生（6年1組担任）に聞きに来てください。

「夏休み社会科自由研究相談会」について

- | | |
|------|--|
| ○期日 | 7月21日（火）、23日（木） |
| ○時間 | 14:00～15:30 |
| ○場所 | 岡崎むかし館（りぶら1階） |
| ○講師 | 平岩 大督先生 内藤 恵三先生（ともに岡崎市社会科指導員） |
| ○その他 | ・ 参加希望者は、上記の時間帯に、岡崎むかし館に来てください。
・ 事前の申し込みなどの必要はありません。 |



身のまわりの防災から学んだこと

1	〇〇小学校 3年 岡崎 北子																																							
2	1 調べてみようと思ったわけ																																							
3	学校にいたときに地震が起きた。4かいにいたので、とてもこ																																							
4	わかった。・・・																																							
5	2 じゅんぴ																																							
6	カメラ、しゃざいノート、・・・																																							
7	3 方ほう																																							
8	(1) 岡崎市防災課の人にインタビューする。																																							
9	(2) 〇〇小学校の△△先生に聞いて、学校の防災セツビについて																																							
10	調べる。																																							
11	(3) 自分のひじょう持ち出し品をじゅんぴする。																																							
12	4 調べたけっか																																							
13	(1) 岡崎市防災課 〇〇さん																																							
14	地震のときに気をつける3つのこと																																							
15	〇〇さん ①たおれてくるもの ②落ちてくるもの ③移動してくるもの																																							
16	の写真※いざというときには、・・・																																							
17	「ひさいした人が1番こまったことは何ですか？」																																							
18																																								
19																					ダンボールで																			
20																					作ってみたトイ																			
21																					レの写真																			
22	トイレです!!																																							
23	その理由は、・・・																																							
24	(2) 〇〇小学校 △△先生																																							
25	〇〇小学校には、8カ所																																							
26	△△先生 いざというときのために																																							
27	の写真とがある。																																							
28	気づいたこと トイレの問題																																							
29																																								
30	(3) 自分のひじょう持ち出し品																																							
31	ひじょう持ち出⇒賞味きげんを																																							
32	しバッグの中身のは、ておくと、																																							
33	写真 交かんする時期																																							
34	が分かりやすい。																																							
35																																								
36																																								
37																																								
38	5 分かったこと																																							
39	この研究をして、ひさいした人が1番こまっていることに気づく																																							
40	ことができた。しんさいを人事ではなく、自分の身近なこととして																																							
41	考え、家族と防災について話し合うことができてよかった。次は、																																							
42	電気や水道が使えないということが分かったの、そのときのたい																																							
43	おうについて、考えたり、調べたりしてみたいと思った。																																							
44	※くわしい研究の内容は、別冊ノートをごらんください。																																							

研究のテーマと名前

- ・研究のテーマは太い字ではっきりと書く。
- ・学校名、学年、名前をわずれず書く。

研究したわけ

- ・この研究をしようと思ったきっかけや、研究のむくひょうについてかんたんに書く。

〇じゅんぴする物

- ・調べるために必要な物や資料を書く。

〇方法

- ・調べたり体験したりする手順を書く。
- ・インタビューしたときは、「相手」や「聞くこと」を書く。

〇調べたけっか

- ・研究の中心となるところだから、具体的に書く。
- ・文章とともに、写真や図、グラフなどを入れると分かりやすい。

〇分かったこと

- ・事実と考えたことを整理してまとめる。
- ・自分の考えを、読み手に伝わるように書く。

〇まとめ

- ・研究を通して、学んだことや苦労したことを書く。
- ・さらに今後研究を深めていきたいことを書く。

しりょう

- ※資料があれば、別にそえる。(ノートやファイルなど)
- ※ルーズリーフはバインダーにとじて、表紙をつける。
- ※資料には、学校名、学年、名前を書く。

- ※もぞう紙は、1枚半以内におさめる。
- ※見出し(方法、けっかなど)は、変えてもよい。
- ※外わくは、色マジックでかこむ。



ご先祖様達の中島「耕地整理」

1	〇〇小学校 6年 岡崎 南男									
2	1 動機									
3	祖母から自分のひいひいひい祖父が、中島地区の耕地整理の委員									
4	だったと聞き、どんなことをしたのか調べてみたいと思った。									
5	2 方法									
6	・悠紀の里民俗資料館のサポーターの方や祖母に話を聞く。									
7	・耕地整理前後の地図や写真などの資料から調べる。									
8	・耕地整理後と現在の地図を比較して、主な道路の様子を調べる。									
9	3 調べた結果と考察									
10	①117年前の中島地区耕地整理									
11	明治33年(1900)、「耕地整理法」が施行され、農業生産力を高									
12	めるため、全国に先駆けて愛知県では初めて中島が耕地整理の大事									
13	業に着手した。衆議院議員早川龍介が・・・									
14	祖母の家に残っていた記念写真									
15										
16										
17										
18										
19	②耕地整理の成果									
20	整(1)用水路と悪水路がまざる。・・・									
21	理(2)道が曲がっていて細い。・・・									
22	問前(3)区画の形状や大きさがバラバラである。									
23	題の(4)									
24	点、(5)									
25	改(1)耕作地を整然と区切り、区画面積を・・・									
26	良(2)一人あたりの耕地面積が増加した。・・・									
27	成後(3)各田に用水路を整備し、・・・									
28	果の(4)悪水路を整備して、排水できるように									
29	(5)道路をまっすぐ整備し、・・・									
30	耕地面積が123%、米は118%、麦は132%収穫高が増加した。・・・									
31										
32										
33	③耕地整理の足跡をたずねる									
34	大きな	現在の地図				通学路	整理さ			
35	道路の写					の写真	れた田の			
36	真					写真	写真			
37										
38	4 まとめ									
39	家の周囲や学校への通学路は、117年前にご先祖様たちが大変な努									
40	力をして耕地整理した土地なんだと実感した。現在は住宅地化が進									
41	んでいるが、便利な産業道路が整備されたのも、まっすぐな道が生									
42	かされているのだと考える。・・・									
43										
44	※くわしい研究の内容は、別冊ノートをごらんください。									

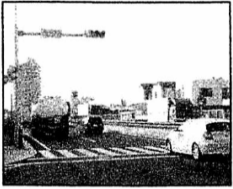
ノートの書き方例 ※ ルーズリーフの場合はバインダー等にはさんで表紙を付けよう

1 表紙 写真を入れて飾ろう

2 目次 項目を挙げよう

3 本文ページ 文章だけでなく、写真や地図、表でわかりやすくまとめよう。

なぜ？姿を消した鉄道
～岡崎の音を採る～



〇〇〇 学校 〇年
岡崎 光太郎

目次

1 研究の動機	...	1
2 準備するもの	...	2
3 予想	...	2
4 調査方法	...	3
5 調査結果	...	4
6 考察	...	10
7 まとめと反省	...	13

1 研究の動機
私は電車が大好きで...

※ なぜ、調べてみたいと思えたのか、自分と結びつけて書いてみよう。

～1～

2 準備するもの
・昔の地形図
今と比べてみるかと...

3 予想
(1) 線路の数が減ったのは電車を使うことが少なく...

～2～

4 調査方法
(1) 昔の地形図から見つける
(2) 現地に行ってみる
(3) 詳しく知っている人に...

～3～

本文ページ続き 目次に対応するページをノートの下や右上に書いておこう

5 調査結果
(1) 会社Aでは、鉄道の矢作橋駅から会社Aに向かって...

写真

地図

※ 文だけでなく、地図や表、写真などで分かりやすくまとめよう。

～4～

6 考察
(1) ものを運ぶ方法が変わった。
昔はものをたくさん...
※ 5の結果を使って、みんなが「なるほど!」と思うようにしよう。

～10～

7 まとめと反省
今回、このことを調べてみて...
※ よかったことだけでなく、失敗したことや、次回を周ってみたいことも書こう。

～13～

※ 模型や大きな地図など、ノートとは別に提出する場合には学校名、学年、名前をそれぞれに書くこと。

○例えば、下のようなことを本文にまとめるとよい。

- 1 研究の動機・研究したわけ
この研究をやると思った理由や、研究の目標を簡単に書く。
- 2 準備するもの
調査のための資料や体験に必要なものを書く。
- 3 予想
自分なりの予想を立ててみると結果と比べやすい。
- 4 調査方法
調査や体験の手順を書く。文章だけでなく、図や写真を入れていくと分かりやすい。聞き取りをする場合は、相手や聞くことを書くことよい。
- 5 調査結果
ここが研究の中心になる。グラフや表、図や写真などを入れて、研究結果がはっきり分かるように、しかも見やすく書く。
- 6 考察・分かったこと
結果から分かること、そこから考えられることをまとめる。自分の考えを読む人にわかってもらえるように書く。
- 7 反省・まとめ・今後の課題
研究を通して苦労したことや失敗したことなどを書く。また、さらに今後研究を深めていきたいことを書く。